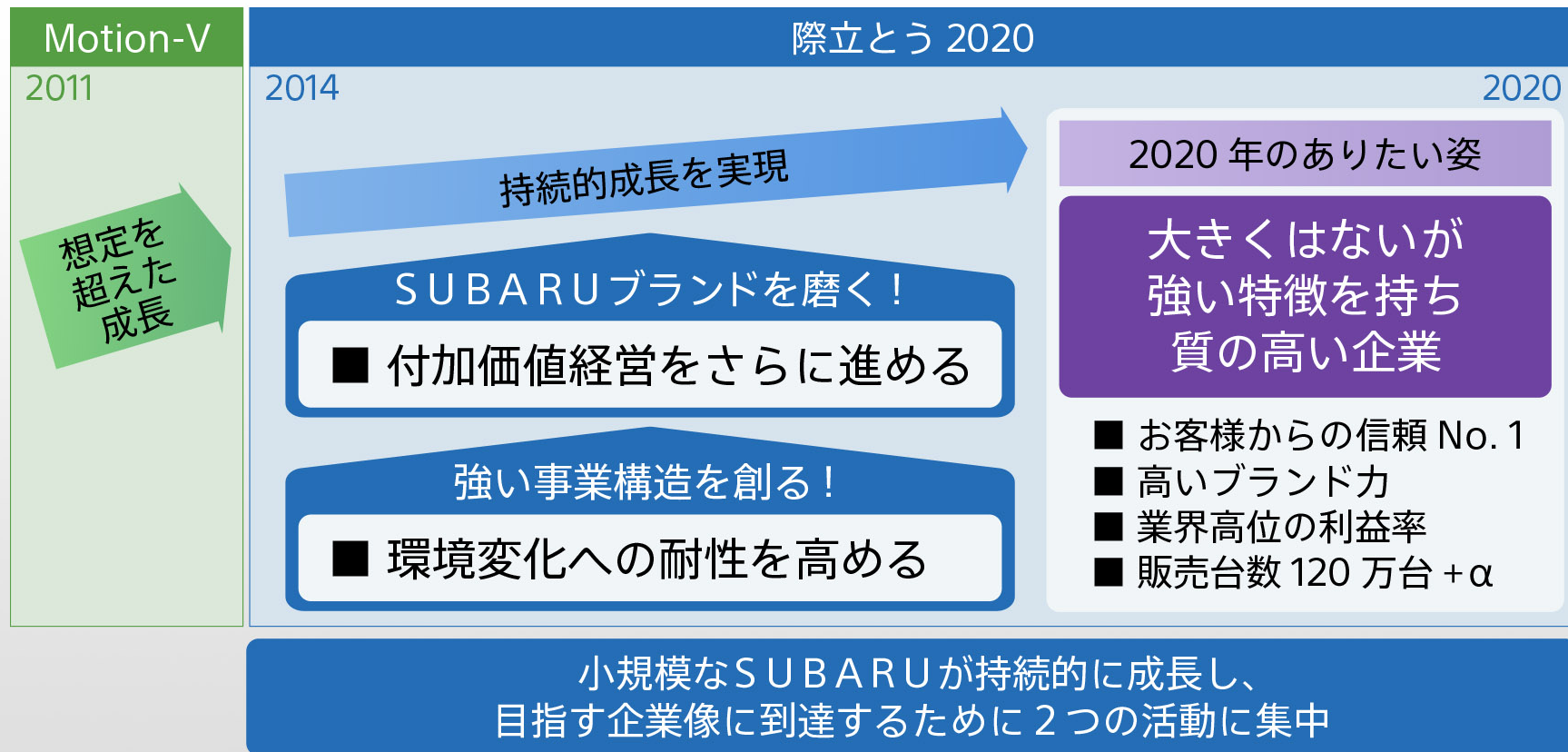


中期経営ビジョン「際立とう2020」



対処すべき課題

短期

品質向上の取り組み
生産能力の増強

中長期

SUBARUらしさを追求した
商品の拡充
質の高い企業を目指す取り組み

短期

品質向上の取り組み

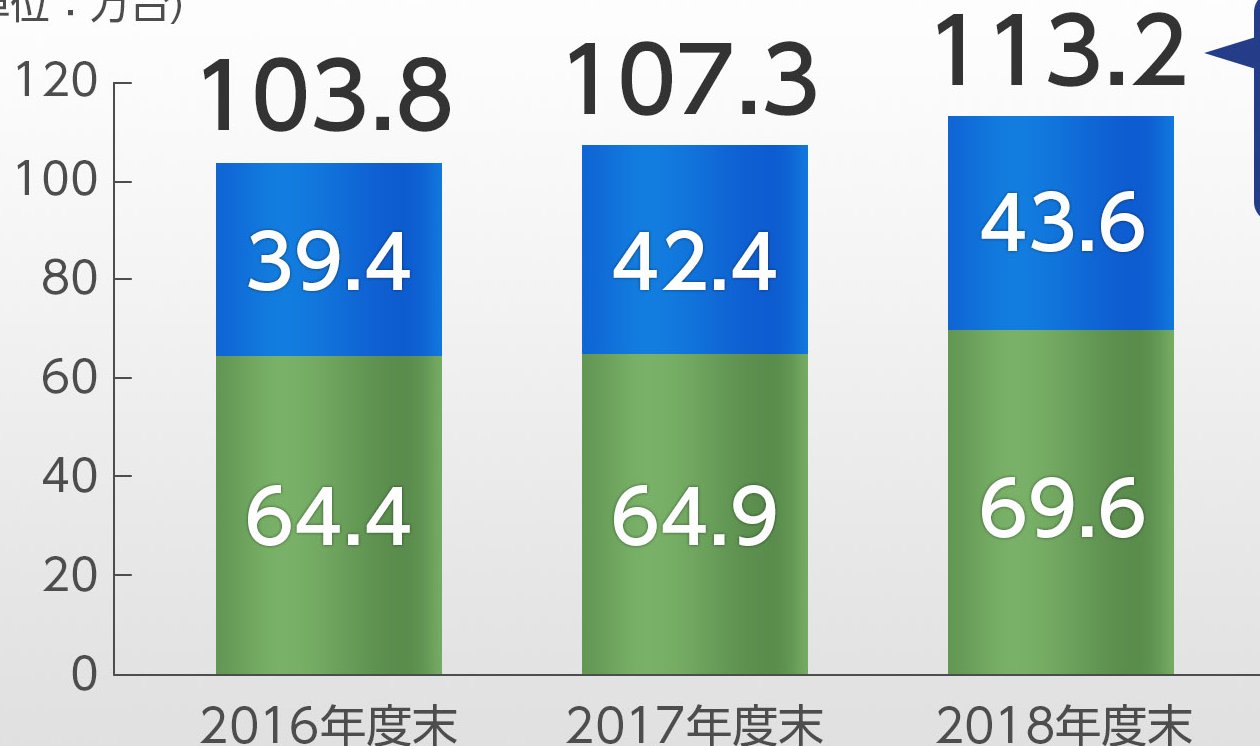


- CQO (最高品質責任者) の設置
- お客様対応品質の向上

短期

生産能力の増強

(単位：万台)

フル操業では
127.6万台 米国
 国内

中長期

S U B A R Uらしさを追求した商品の拡充



2016年

2017年

2018年

2019年

2020年～

環境
対
応



直噴ユニットの拡大展開

新設計
ダウンサイジングターボ

プラグインハイブリッド

2021年
電気自動車

* 内燃機関の大幅効率改善と電動化の組み合わせにより
各地域の規制に対応

中長期

SUBARUらしさを追求した商品の拡充



アイサイト・ツーリングアシスト



アクセル、ブレーキ制御



ステアリング制御

区画線認識

先車認識



ツーリングアシスト

[全車速追従機能付クルーズコントロール]

[車線中央維持] [先車追従操舵]

中長期

SUBARUらしさを追求した商品の拡充



アイサイトのさらなる進化

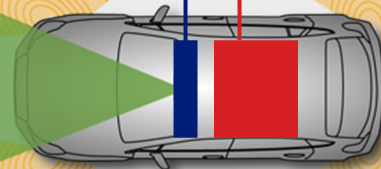
2020

カーブ走行や車線変更など
自動制御で走行できるシーンを
拡大することで運転負荷を
さらに軽減
(ミニマムなデバイスの追加で実現)

アイサイト
ステレオカメラ

デジタルマップ
GPS

地図ロケータ



レーダー

レーダー

中長期

SUBARUらしさを追求した商品の拡充



2016年

2017年

2018年

2019年

2020年～



スバルグローバルプラットフォーム

モデル計画



インプレッサ



SUBARU XV

フルモデルチェンジ



ASCENT※

フルモデルチェンジ

フルモデルチェンジ

※画像はSUBARU ASCENT SUV CONCEPT

中長期

質の高い企業を目指す取り組み



経営管理・事業監視機能の強化

- 経営管理本部の新設
- CQO(Quality)、CTO(Technology)
CIO(Information) の新設

中長期

質の高い企業を目指す取り組み



S U B A R U の環境理念

『大地と空と自然』が S U B A R U のフィールド



自然環境保全「S U B A R U の森」活動スタート

人材育成 / 組織・風土改革

- ・女性の活躍推進、管理職への登用
- ・従業員の心と体の健康を守る職場環境づくり

今年度の通期業績見通し



	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	前年比
連結売上台数	106.5 万台	110.6 万台	+3.8%
売上高	33,260 億円	34,200 億円	+2.8%
営業利益	4,108 億円	4,100 億円	-0.2%
営業利益率	12.4%	12.0%	—
単独為替レート	108 円/US\$	110 円/US\$	+2 円/US\$

今年度の通期業績見通し

営業利益
増減要因

為替レート差

+211

諸経費等

-278

試験研究費

-198

(単位：億円)

売上構成差等

+328

原価低減

-71

4,108

8億円の減益

4,100

2017年3月期 営業利益(実績)

2018年3月期 営業利益(計画)

株主還元 (配当)



1 株当たり
配当金

2016年3月期
(実績)

2017年3月期
(予定)

2018年3月期
(予想)

第2四半期末

72 円

72 円

72 円

期 末

72 円

72 円

72 円

年 間 合 計

144 円

144 円

144 円

連結配当性向

25.7 %

39.4 %

38.7 %

2018年3月期以降の配当性向を **30%～50%** へ (従来は20%～40%)



SUBARU